

栃木県矢板地域

□素材生産力の強化を図る、ICT技術活用等による現場作業の効率化

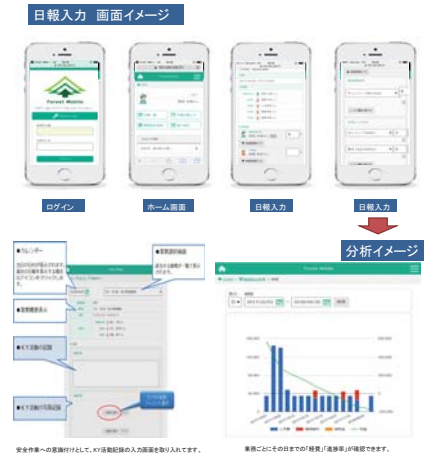
“ 将来を見据えた現場作業を目指す、一人一人の意識改革 ”

□現状と課題

本地域は、これまで間伐施業を中心に行ってきたが、近年、素材生産量を増加させるため、皆伐施業の取組を拡大している。皆伐面積の増加と共に、造林・保育作業も増加し、新たな労働力の確保が急務である。

しかしながら、新規就業者の確保・定着が思うように進まず、労働力不足が深刻化している。

このため、現在の人員を最大限活かした素材生産性の向上、また、即戦力となる人材の確保・育成のための取組が必要となっている。



完全作業への意識付けとして、ICT活用設備の導入を促しています。 業務に合わせた現場作業の効率化が期待できます。

□アプローチ

現場作業の日報管理にICT技術を導入し、現場作業の見える化を図り、管理者が作業の分析をする仕組みを構築することとした。

また、現場作業リーダーの育成が重要と捉え、リーダー育成のための研修プログラムを検討し、研修を通して、生産性向上に対する考え方の意識改革を行うこととした。

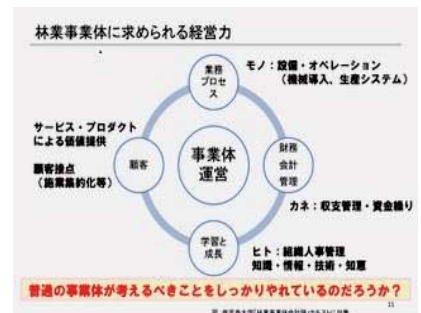


現場作業終了後、日報へ入力

□取組の効果・成果

ICT技術導入に向けた議論を重ねた結果、スマートフォンを活用した日報管理を取り入れることとし、現場での運用を開始したところである。会社の予算に対し、どのくらいの経費となっているかを把握できるなど、作業員一人一人が、自分の作業を見直すきっかけとなっている。

また、リーダー研修では、普段の現場作業とは異なる経営の視点等を学ぶことができたとともに、他事業体との貴重な意見交換の場ともなった。



栃木県立大学 林業事業体経営研修(令和元年度) 経営士としての研修資料から引用

□成功要因

既存のシステムを改変(矢板地域版)して活用したことで、短期間での運用開始につながった。また、スマートフォンを使用することで、手軽に入力できることも利点となっている。

リーダー研修では、林業分野に精通しつつ、多方面での実績を有する方を講師に迎え、また、仕事に支障のないよう日程を分けて実施したため、積極的な参加につながった。



経営シミュレーション演習

□他地域でも応用できる考え方

人材の確保・育成が困難な状況は他地域でも同様であり、限られた人員で生産性向上を図るといった意識改革は、これからの林業分野に必要な考え方であり、他地域でも参考になると思われる。



課題解決力研修